

エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2017 及び回答票

質問 1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための管理システムについて伺います。

質問 1-1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針を策定していますか。また、策定していない場合、今後策定する予定はありますか。

■A. 鉱物・金属の調達方針を策定している

(名称・公開場所： 日立グループの紛争鉱物調達方針

http://www.hitachi.co.jp/procurement/csr/_icsFiles/afieldfile/2017/03/09/CM_PP_RE_J.pdf

日立製作所購買取引行動指針

http://www.hitachi.co.jp/procurement/statement/policy/_icsFiles/afieldfile/2010/08/30/koubai.pdf

日立グループ サプライチェーン CSR 調達ガイドライン

http://www.hitachi.co.jp/procurement/csr/_icsFiles/afieldfile/2017/03/09/HSC_CSR_GB_J.pdf)

□B. 鉱物・金属に特化した調達方針はないが、全般の調達方針でカバーしている

(名称・公開場所：) 例；URL

□C. 現在は全般の調達方針のみだが、鉱物・金属調達に特化した方針の策定を検討している。

(策定予定時期： 年 月頃)

□D. 鉱物・金属の調達方針を策定していない。

(その理由：)

質問 1-1-2. 質問 1-1 で A～C と答えた方に伺います (質問 1-1-4 まで)。策定もしくは検討されている方針についてお答えください。鉱物・金属の調達方針において、どのような環境・社会問題への配慮を定めていますか (複数回答可)

■A. 土壌や水系・大気の汚染を引き起こしていないか

■B. 野生生物や生物多様性への悪影響を及ぼしていないか

□C. 先住民・居住者の生活や土地・文化を侵害していないか

■D. 児童労働や、劣悪な環境・条件での労働を行っていないか

■E. 武装勢力の資金源となる等、紛争に関連していないか

□F. その他 ()

□G. 対象とする環境・社会問題は特定していない

質問 1-1-3. 対象鉱物を定めていますか (複数回答可)

■A.金 ■B.スズ ■C.タンタル ■D.タングステン □E.アルミニウム □F.鉄 □G.コバルト

□H.ニッケル □I.銅 □J.亜鉛 □K.銀 □L.カドミウム □M.白金属 □N.水銀 □O.鉛

□P.その他 ()

□Q.特に定めてはいない

質問 1-1-4. 複数の鉱物に対する方針をお持ちの方に伺います。

鉱物ごとに異なる方針を定められていますか

■A.すべての鉱物に共通の方針を定めている

- B.一部の鉱物にのみ適用される方針がある
具体的に（ ）

質問 1-2. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための内部管理体制を構築していますか。

- A.社内の管理体制を構築している
 B.常設の管理体制はない
 C.その他（ ）

管理体制がある方

情報集約の仕組み、事務局、検討の場、責任者等についてご説明ください。（図があればそちらを用いて）

- ・顧客からの調査依頼対応の状況を把握するシステムによる情報集約
- ・事務局は日立グループ CSR・グリーン調達委員会、責任者は CPO(Chief Procurement Officer)

質問 1-3. 鉱物・金属調達におけるリスクの特定および評価を行っていますか。

- A.リスクの特定及び評価のプロセスを開発し、サプライチェーン上のリスク特定の取組みを行っている
 B.リスクの特定および評価は特に行っていない
 C.その他（ ）

質問 1-4. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針をどのような形でサプライチェーン上で徹底していますか。

- A.一次取引先への通達事項として依頼
 B.サプライヤーとの取引基本契約書に、調達方針の内容を組み込んでいる
 C.サプライヤーと合意書を交わしている
 D.特に文書化は行っていない
 E.その他（一次サプライヤーに配布、順守を依頼している「日立グループ サプライチェーン CSR 調達ガイドライン」に含めている）

質問 1-4-1. 質問 1-4 で D 以外を選択された方に伺います。上記に含まれる内容についてお答えください。（複数選択可）

- A.サプライヤーによる調達方針遵守を求める
 B.サプライヤーが、二次以下のサプライヤーに対して調達方針を遵守するように影響力の程度に応じて適切な措置をとることを求める
 C.サプライヤー自身による自社の調達方針策定や調査の実施を求める
 D.サプライヤーの調達方針遵守状況に関する活動を自社に報告することを求める
 E.その他（ ）

質問 1-5. 苦情申し立ての仕組み

質問 1-5-1. 鉱物・金属調達における環境・社会配慮について、ステークホルダーからのフィードバックを得る仕組みを構築していますか。

- A. 構築している
 B. 構築していない

質問 1-5-2. 質問 1-5-1 で A と答えた方に伺います（質問 1-5-3 まで）。フィードバックを得る対象の□にチェックを入れ（複数回答可）、具体的仕組みをお書きください。

	対象	仕組み（オンラインフォーム等）	対応言語
A	<input type="checkbox"/> サプライヤー		
B	<input type="checkbox"/> 顧客・製品使用者		
C	<input type="checkbox"/> 従業員		
D	<input type="checkbox"/> NGO・NPO		
E	<input type="checkbox"/> 鉱山・工場立地住民		
F	<input type="checkbox"/> その他（ ）		

質問 1-5-3. フィードバックを得た場合の対処の方法をお書きください。

--

質問 2. リスクの特定および評価の内容について伺います。

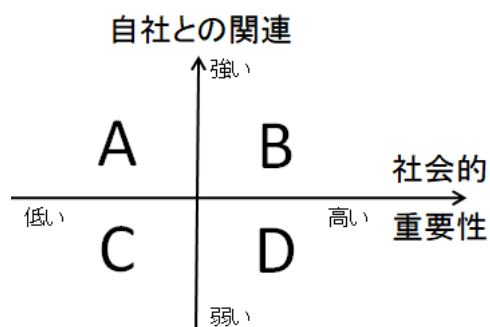
質問 1-3 で A と答えた方にうかがいます。（質問 2 全体）

質問 2-1. リスク特定のための情報収集先として当てはまる項目の□にチェックを入れ（複数回答可）。情報収集方法をお書きください。

	情報収集先	情報収集方法
A	<input type="checkbox"/> サプライヤー	<input type="checkbox"/> サプライヤーへのアンケート送付（頻度： ） <input type="checkbox"/> サプライヤーへの監査（頻度： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
B	<input type="checkbox"/> 顧客・製品使用者	
C	<input type="checkbox"/> 従業員	
D	<input type="checkbox"/> NGO・NPO	
E	<input type="checkbox"/> 鉱山・工場立地住民	
F	<input type="checkbox"/> メディア	
G	<input type="checkbox"/> その他（ ）	

質問 2-2. 評価の基準

A～D のうち、評価の結果対応すべきリスクと判断されうる象限を丸で囲んでください。また、社会的 중요性が高いと判断するポイントをお書きください。



社会的な重要性が高いと判断するポイント
(例：テレビ報道、人命の危機 等)

- ・
- ・

質問 2-3. リスク評価の頻度をご記入ください。 ()

質問 3. 特定されたリスクへの対応、具体的な対応フェーズについて伺います。

質問 3-1. 質問 1-3 で A. と答えた方にうかがいます(質問 3-3 まで)。リスク特定および評価プロセスの結果、対応すべきリスクが特定されましたか。

- A. 対応すべきリスクが特定された
- B. 対応すべきリスクは特定されなかった
- C. その他

質問 3-2. 特定されたリスクの内容をお書き下さい。

質問 3-3. 特定されたリスクへの対応・是正策をお書き下さい。

- A. 対応策・是正策を講じた → 内容を下記にお書き下さい
- B. 特に対応は行っていない
- C. その他 ()

対応・是正策の内容

質問 3-4. (全ての方に伺います。) 以下のような情報が得られた際の対応をご回答ください

3-4-1) 取引開始時に、その取引先のサプライチェーンが下記に関連しているという情報が得られた場合

カナダの鉱山にてテーリング施設決壊事故が発生し、水銀、鉛、ヒ素などの有害物質を含む汚染水が 260 億リットル流出。カナダ国内で活動する環境 NGO から「カナダ史上最悪の環境災害」とのちに呼ばれる事故が発生しました。その原因としては、鉱山法に抵触する過剰操業、欠陥工事、あるいは事前の環境影響評価が不十分であったことが疑われています。いまだ十分に環境回復はされていないという見方が強いものの、現在同鉱山では操業を再開し、銅、金、銀などの鉱物を輸出しています。

(2014 年 8 月ブリティッシュコロンビア州マウントポーリー (Imperial Metals 社所有) での事象を参考)

事実確認の結果に基づき、当社の leverage の範囲で同鉱山の環境への負の影響防止を働きかける。まず、当該取引先に対し同鉱山との取引状況を確認してもらい、取引が確認された場合は取引先を通じて同鉱山に関する環境 NGO の指摘事項及び鉱山法違反について事実確認を行う。事実であった場合は、「日立

グループサプライチェーン CSR 調達ガイドライン」に基づき、同鉱山に対し、廃水が現地の水質に与える影響調査の実施や、必要な管理や処置を講じた排出を求めるよう取引先に働きかける。一定期間の後も改善が見られない場合は、取引先に対し同鉱山からの調達を見直すよう検討を依頼する。

3-4-2) 現在取引のある相手のサプライチェーンに関連して下記のような情報が得られた場合

エクアドル銅鉱山の操業に反対する現地先住民族と軍による衝突で警察官一名が死亡、両者にけが人が多数出る事件が発生しました。この鉱山をはじめとして当該山脈で開発されている鉱山地帯の土地はほとんどが元来先住民族の生活していた土地と認知されています。しかしながら、エクアドルの国内法では地下資源の採掘にあたって先住民族への事前の十分な情報に基づく合意（FPIC）は必要とされておらず、当該鉱山においても先住民族の同意とは鉱山開発のために十分な説明なく強制退去させられています。今回の衝突が激化した背景には国際条約で保障されている先住民族の権利やエクアドル憲法でも保障されているべき権利に対する侵害が行われていたことも背景にあると見られています。

(2016年12月14日パナツァーサンカルロスでの事象を参考)

当社は「日立グループ人権方針」で国際的に認められた人権と各国法の間には矛盾がある場合は、国際的な人権の原則を尊重するための方法を追及していく旨を宣言している。

本事例の場合は、取引先を通じて同鉱山に対し現地先住民族の生活基盤を壊さない配慮や、必要な救済を働きかけるよう求めるとともに、今後は現地先住民族との対話などを通じて、彼らの人権への負の影響を評価し、発生しうる影響への防止策を講じるよう助言する。

質問 4. 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果等の公開・コミュニケーションについて伺います。

質問 4-1. 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果を公開していますか。

- A. ウェブサイトで公開している
 B. ウェブサイトで公開していない

質問 4-1-2. 質問 4-1 で A. と答えた方に伺います。掲載項目の にチェックを入れ URL を記載してください。

- A. 問題の背景・自社の問題意識 B. 方針 C. リスク評価手続き・内容（質問 2 の内容）
 D. 評価結果（質問 3-1, 3-2 の内容） E. 評価結果に対する対応・是正策（質問 3-3 の内容）
 F. その他（ ）

掲載言語：日本語および英語

URL：http://www.hitachi.co.jp/csr/download/pdf/csr2017_071-075.pdf (P73)

http://www.hitachi.com/csr/download/pdf/csr2017e_071-075.pdf (p73)

質問 4-2. ウェブサイト公開に加え、追加的に行っているコミュニケーションがあれば選択およびそのコミュニケーション方法を記載してください。

		C. リスク評価 手続き・内容	D. 評価 結果	E. 対応・ 是正策	F. その 他	方法
a	取引先(上流)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		CMRT を活用した調査依頼
b	顧客・製品使用者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		CMRT を活用した調査回答
c	従業員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

d	NGO・NPO	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
e	鉱山・工場立地住民	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
f	その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

質問 5. 他社・団体との協力について伺います。

質問 5-1. 責任ある鉱物・金属調達を行うために、自社単独の活動（自社のサプライチェーンにおける活動を含む）以外に御社ではどのような活動を行っていますか？（複数選択可）

- A. 国際的な取決めについてロビーイングを行う
- B. 国際的なネットワーク等で協力して取組む（参加しているネットワーク等： ）
- C. 同業他社と問題を共有する場を持ち、業界を上げて取組む（参加している取組み：JEITA 責任ある鉱物調達検討会）
- D. NGO・NPO や消費者団体と協力して取組む（協力している団体名： ）
- E. 採掘に伴う問題の認知度を上げる（取組内容： ）
- F. 自社単独の活動以外に行っていない
- G. その他（ ）

質問 5-2. 鉱物資源・金属調達に関して、NGO との対話に関心はございますか。

- A. 関心がある
- B. 関心はない

（本回答は公開しません）

質問 5-3. 質問 5-2 で A と答えた方にお伺いします。NGO との対話などにどのようなことを期待しますか。

--

質問 6. 以下の 3 つの法・規則等の対象にあたるかどうかをお伺いします。

当てはまる□にチェックを入れてください。

	対象企業である	対象企業ではないが、取引先から調査を受けているもしくは調査を求められている	対象企業ではなく、関連した調査や活動を求められたことはない	把握していない
米国ドッド・フランク法紛争鉱物条項	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
EU 紛争鉱物資源に関する規則案	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
英国 現代奴隷法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご回答者について

鉱物・金属に関するサプライチェーン上で貴社がどの部分にあたるかお答えください。（複数選択可）

- A. 鉱山操業 B. 精錬 F. 商社・卸売 C. 一次加工（地金等） D. 二次加工（部品等）
- E. 最終製品製造 G. 最終製品販売 H. その他（ ）